

令和7年度 総合型選抜探究力入試「Q」 文学部 出題意図等

1) 志望理由書について

- ・これまでの経験を単に書き並べていくだけでは、何をどう探究したいのか伝わらない。自分が考えていること（学問的好奇心の中身、自分の関心領域についての考察の内容）を、丁寧に説明すること。そしてどのような文章で表現すれば人に伝わるかを、しっかり考えて書くこと。
- ・これまで何をしてきたのかだけでなく、これから学問的にどのように探究していきたいかという見通しまで書いてほしい。入学後の探究を具体的に計画し、本学の教員や授業科目にとらわれることなく、自身が行っていきたい探究を前面に出して記述してほしい。
- ・高校での「総合的な学習の時間」における学びについて書く場合には、その授業を通して、いかに自分が主体的に探究を行ったのかを記してほしい。
- ・行ったこと（やりたいこと）をすべて書くよりも、焦点をしぼって記述するよう心がけること。そして、自分が選択したテーマの中で、自分は特に何について深く探究したいのかをよく考え、明確にした上で記述すること。また、志望理由書の文章に、自分なりのタイトルをつけることも考えてほしい。

2) 課題レポート・小論文について

- ・指定図書をしっかり読みこみ、その内容に問いかけ、対話することをめざしてほしい。
- ・複数の図書が指定されている場合は、1冊だけでなく、すべてを精読しておくこと。
- ・レポートを書く時には、自分が行ったことや考えたことを十分にアピールしよう。
- ・教科書に出ているような「正解」を並べるよりも、実際に自分で考え、調べたことを書いてみることを。例えば、自分の身近にある具体的な問題について論じてみてもいいし、高校での勉強を進める中で浮かんだ素朴な疑問について調べてみてもいい。
- ・結論だけを述べるのではなく、そう考えるに至った根拠を示してみよう。その際には指定図書だけにとどまらず、自分の探究テーマに関する文献・資料などを精査して論じてほしい。ただし Web 上の内容は、その信頼性や情報源に注意が必要である。
- ・どのように調べればいいのか分からない時は、高校の先生やそのことに詳しい人に聞いてみよう。人との対話を通して学ぶための良い機会になる。

3) その他

- ・あくまで自分が何を探究したいのかを中心に考えてほしい。奈良女子大学文学部の広報資料に記載されている学科・コースの内容や教員の研究領域などに合わせて、自分の探究を小さく限定する必要はない。
- ・4つの探究テーマの「求める学生像」を熟読し、よく理解した上で、自分の志望するテーマを選択すること。